

新年のごあいさつ

尾張旭市長

森 和実



新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は6月に、愛知県森林公園において天皇皇后両陛下をはじめ、全国から多くの皆さまをお迎えして、第70回全国植樹祭が開催されました。市民の皆さまやボランティアなど多くの関係者のご協力により開催地としての役割を果たすことができ、深く感謝申し上げます。全国植樹祭は全国的な注目を集める絶好の機会となりました。これを一過性のものとせず、多くのかたが本市に足を運んでいただけるよう頑張っておりますので、市民の皆さまのより一層のご協力をお願いいたします。

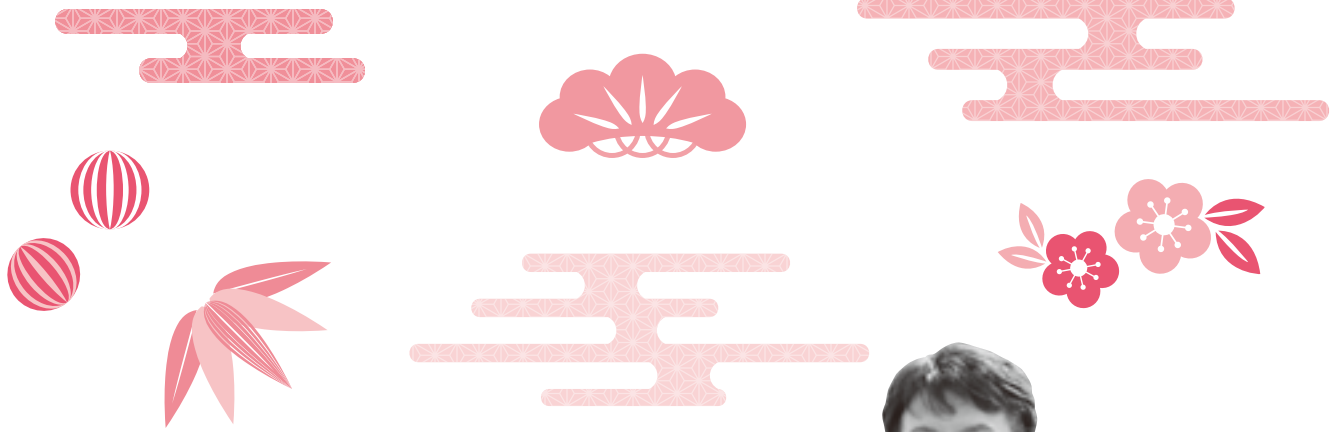
本市は、本年12月1日に市制施行から50周年を迎えます。今日に至るまちの発展は、市民・団体・地域コミュニティ・事業者・行政などが一緒になり、ともにまちづくりを進めてきた証です。市制50周年は、改めて「ふるさと尾張旭」を思う良い機会となります。将来へ

続くまちの発展や活力につなげ、更なる飛躍を図るため、各種記念事業を実施してまいりたいと考えております。

また、市民や団体などの皆さまが、市制50周年を記念して主体的に企画し実施していただく事業も募集しております。行政だけでなく、市民や団体、事業者の皆さまと一緒に、まち全体が、ふるさと尾張旭の市制50周年をお祝いするムードや一体感を感じられ、子どもから大人まで、多くのかたがふるさと尾張旭への愛着を、より一層深めることができるよう取り組んでまいります。

本年は、次の50年に向けた新たなまちづくりの始まりです。引き続き「こどもは宝、健康は宝、幸せづくりは宝」に向けた施策を展開し、オンリーワンのまちづくりを進めてまいります。

最後になりましたが、本年が市民の皆さまにとって素晴らしい年になることを御祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



尾張旭市議会 議長

若杉 たかし



新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、市議会に対して多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本市議会におきましては、昨年4月に、4年に一度の改選があり、市民の皆さまの信託を受けた20人の議員による、新たな体制の下で始動いたしました。議員一同、市民に果たす役割の大きさ、市政を担う責任の重さに、決意を新たにいたしましたところでございます。

昨年の7月からは、議会改革に関する課題に集中的に取り組み、議会の活性化を図るため、議会改革推進特別委員会を設置し、継続的な協議を行っております。これを契機とし、議会機能の更なる充実、強化に注力し、議会改革の成果を市民福祉の向上につなげるべく、まい進してまいります。

さて、本年は、いよいよ市制50周年という記念すべき年を迎えます。今日の尾張旭市は、市と市民の皆さまが手を携え、幾多の試練を乗り

越えながら築いてこられたたまものであります。これまでの発展に尽くされた先人に衷心より感謝申し上げるとともに、大きな節目の年を市民の皆さまと迎えられることに大きな喜びを感じております。

市では、記念事業などが企画され、まち全体で市制50周年をお祝いする準備を着実に整えております。この記念すべき年が、将来への希望に満ちた輝かしい年となるよう、市議会といたしましても、市および市民の皆さまとの連携をより深め、市制50周年を盛り上げてまいりたいと思います。

また、未来の尾張旭市に向け、市政が抱えるさまざまな課題を解決し、市民の皆さまからの期待と信頼に応えられる議会を目指して、議員一丸となって誠心誠意尽力してまいりますので、どうか本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が皆さまにとって、笑顔が溢れる実り多き年になりますよう心より祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

